

こんにちは 婦人会です

年が改まってもう半月が過ぎてしまいました。今年は暖冬だそうです。暖かく穏やかな元旦を迎えられたのではないのでしょうか。あらためまして、「おめでとうございます。今年も宜しくお願いいたします。」

お正月といえば我が家の子供がまだ小さかった頃、お父さんにおめでとうございますとお正月の挨拶をしましょうねといった時“どうしてお正月はおめでたいの”と聞かれて困った私は“お正月の挨拶の決まりになっているの、その挨拶が出来るとお父さんがお年玉をくれるの”と答えていたことを思い出しました。それが懐かしいこの頃です。



～ 婦人会・暮らしのエッセンス～

春の七草

今月は、春の七草を例のごとくインターネットなどで調べてみました。「君がため春の野に出て若菜（七草）摘むわが衣手にゆきはふりつつ」百人一首でおなじみのこの歌は光孝天皇が詠まれ、この歌に出てくる若菜とは七草のことです。七草とは「せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ」です。もともとは中国から伝わったもので、中国では元旦から八日までを鶏・犬・羊・猪・牛・馬・人・穀物になぞらえ、七番目の人の日に七種の菜を入れたあつものを食べると病よけになるといわれていて、その伝承と一月十五日に米・栗・麦など七種の穀物で粥を作る日本の習慣が合体して、五節句の行事のひとつとして七日の七草粥が根付いたそうです。お正月のご馳走で疲れた胃と体をビタミンやミネラル豊富な若菜粥で癒してみてはいかがでしょうか。



桜台婦人会
平成19年1月20日
第61号